

ポイント ①

5段階の警戒レベルと警報

注意報、警報などの名称にレベルが追加され、各レベルの色が統一されることで、危険度が明確になり、警戒レベル相当の情報が分かりやすくなります。

気象庁の新たな防災気象情報

災害発生の数日～1日前 半日～数時間前 数時間～3時間前 2時間～0時間前 時間推移のイメージ 災害発生	白	レベル1 早期注意情報	○災害への心構えを一段高める ○連絡体制を確認	—
	黄	レベル2 注意報	●ハザードマップなどで災害リスクを再確認 ●自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認	—
	赤	レベル3 警報	●避難に時間がかかる高齢者などは危険な場所から避難 ●他の人も必要に応じて避難の準備や自主避難	高齢者等 避難
	紫	レベル4 危険警報	●災害が起こるおそれ大きい状況 ●危険な場所から全員避難	避難 指示
	黒	レベル5 特別警報	●すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ●今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動	緊急 安全確保

市が発令する避難情報

特集

気象警報が変わります

知って安心！防災の知識

気象庁から発表される防災気象情報のしくみが新しくなったことを知っていますか？
 今月は防災をテーマに、いざという時のための情報の見方、とるべき行動を紹介いたします。
 この機会に、家族の避難ルールや災害時の備えを一度見直してみましよう。

「まだ大丈夫」は最も危険です
警戒レベル4までに必ず避難を！



気象庁の気象情報の発表と、市区町村の避難情報の発令は同時に行われるわけではありません

気象庁が発表する「気象情報」と市区町村が発令する「高齢者等避難」「避難指示」などは判断基準が異なるため、情報の出るタイミングが異なります。

次のような場合も

- レベル3警報が出ていても市の避難情報が出ていない
- 市が避難指示を出していても気象情報のレベルが低い（局地的豪雨・河川の急激な増水など）

どちらの情報も確認して行動しましょう！

確認すべき情報源

気象庁 防災気象情報、
 大東市防災アプリ（詳細は5ページ）、
 Lアラート、NHKニュース、
 緊急速報メール



気象庁
ホームページ



ポイント ③

土砂災害に関する情報がより明確になります

これまで大雨警報の中に土砂災害に関する情報が含まれていましたが、今後は土砂災害に特化した情報が発表されます。



ポイント ②

河川に対して気象警報が発表されます

これまでは市を対象に発表されていましたが、今後は寝屋川など大河川を対象に発表されます。中小河川は大雨に関する気象情報に含まれます。また、「洪水」から「氾濫」に名前が変わります。



対象河川



家の近く、よく通る道などは必ずチェック！

（ どういった場所に気をつければいい？ ）



平地

内水氾濫のおそれ

川の近く

川の氾濫のおそれ

山地

土砂災害のおそれ

大東市は東西に広いから地域によって想定される災害が異なるよ



寝屋川



恩智川



飯盛山



阪奈道路



外出中のシミュレーションは4ページへ



地下街で買い物中の

大雨



- 館内放送や施設管理者の指示を確認する
- スタッフの誘導に従う
- 浸水が始まったら迷わず地上へ(階段を使う。エレベーターは使用しない)
- 水が流れ込む出口は避ける

海辺で釣りをしている時の

高潮・高波



- 警報発表と同時に釣りを中断・即離れる
- 「少し様子を見よう」は危険
- 堤防・磯・消波ブロックは波に一瞬でさらわれる
- 荷物を捨てても高台へ移動
- 海沿いの駐車場も浸水するため注意

通勤・通学で移動中の

河川氾濫



- 河川・用水路・側溝に近づかない
- 水が流れる道は膝下でも歩かない
- 水がたまる道路には車で進入しない
- 頑丈な建物の2階以上に避難
- 地下街や地下鉄は浸水リスクあり、早めに地上へ

山道を運転中の

土砂災害



- 前兆は山鳴り・川の急な濁り・湧き水
- 沢沿い・急斜面沿いの道路からすぐに離れる
- 開けた場所(広い駐車場・尾根上の平坦地)へ移動
- 崖下・切り通し・谷筋は危険
- 土砂・落石などに注意しながら山から出る方向へ
- 通行不能の場合は車を捨てる判断も必要

COLUMN

個別避難計画・地区防災計画

災害時に手助けが必要な人(避難行動要支援者)のため、一人ひとりの状況に合わせた「個別避難計画」の作成や、地域単位での災害への備えと災害時の行動をまとめた「地区防災計画」の作成を推進しています。お住まいの地域での取り組みを確認してください。



こんな時は

どう行動する？ 備えは？

いざという時に慌てないために。今すぐシミュレーション！

住んでいる地域やよく行く場所の災害リスクを知っておこう！



いざという時に
慌てないための
無料便利アプリ

関西停電情報アプリ



地域を登録すると停電発生時に通知します。家族が関西地域に住んでいる場合、家族の地域もまとめて状況が確認できます。停電状況から復旧見込みまで簡単にチェックでき、もしもの備えに役立ちます。



大東市防災アプリ



災害発生時に、防災情報や避難所の開設状況、避難所への避難経路などの最新情報が入手できます。



非常持ち出し品リスト



飲料水	1人1日3ℓ×最低3日分
非常食	3～7日分(アレルギー配慮)
救急用品	常備薬・お薬手帳のコピーも
懐中電灯	予備電池・手回し充電型も可
携帯ラジオ	電池式・手回し式推奨
スマートフォン	避難情報の確認や家族への連絡に
モバイルバッテリー	20,000mAh以上(スマートフォンを約3～4回充電可)推奨
雨具・防寒具	季節に応じた準備
現金・証明書	運転免許証など
マスク・除菌	感染症対策
着替え・タオル	圧縮袋に入れると省スペース
携帯用トイレ	10回分

防災ポーチ



「防災ポーチ」を作って普段からできるだけ多く持ち歩くと安心だね



まとめ

どの状況でも共通する「大切なこと」



情報を取得する

気象庁・市の情報を両方確認。
スマホのアプリも活用



早め・早めに動く

「まだ大丈夫」は危険。
レベル3で避難の準備



家族で決めておく

避難場所・連絡手段を
家族で事前に確認しよう